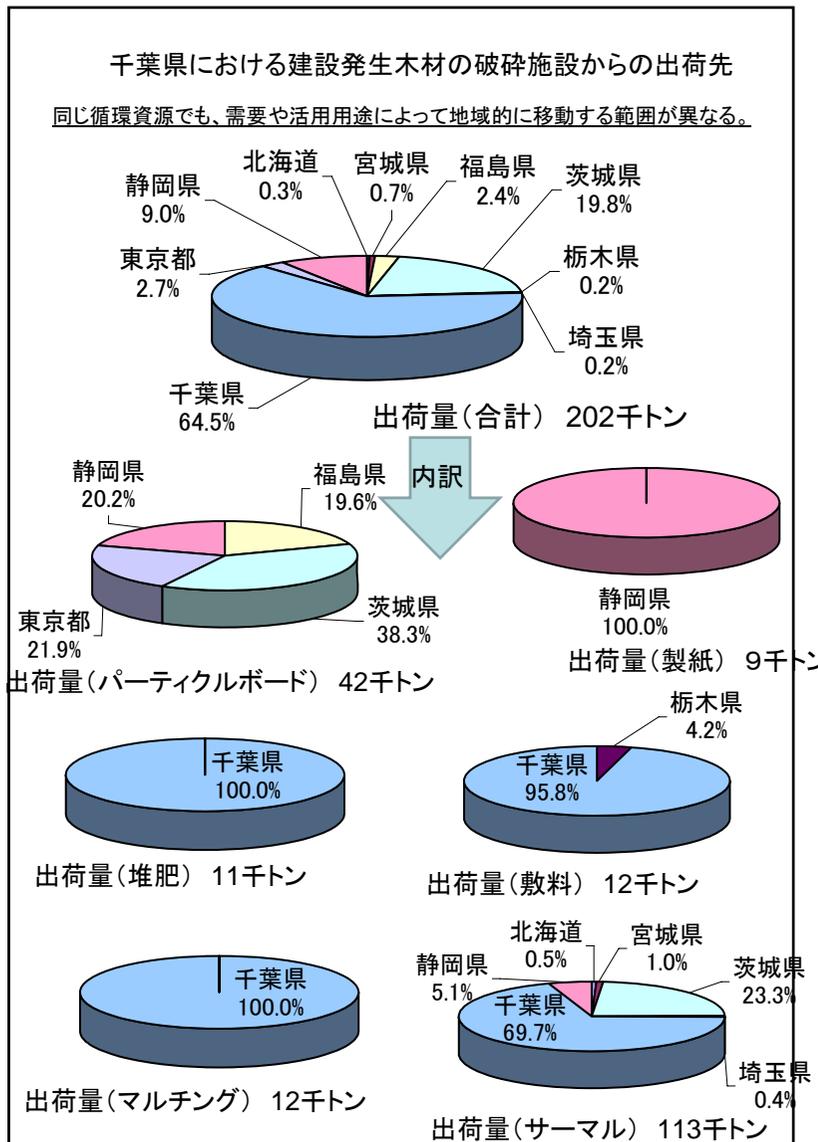
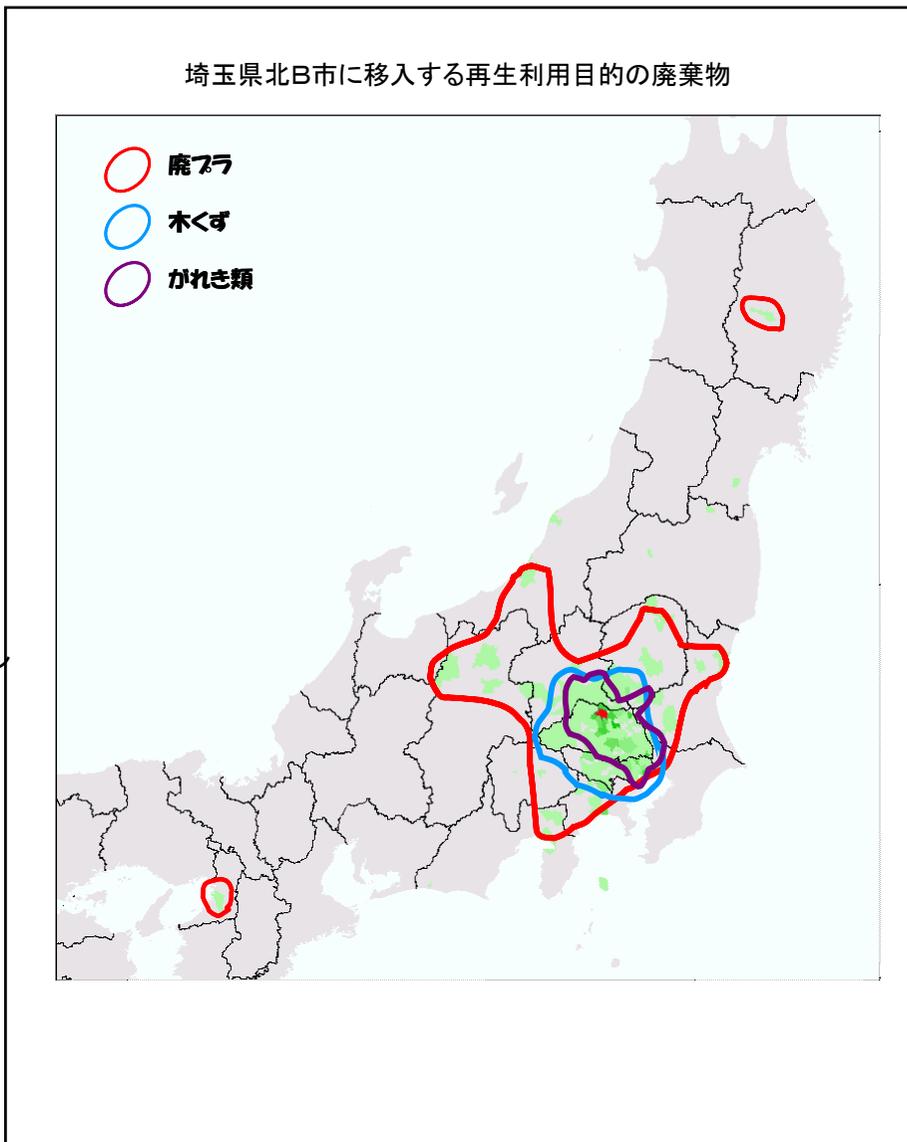


ブロック内資源循環の事例

建設副産物等の循環利用



<出典>千葉県における建設発生木材リサイクル促進行動計画(国土交通省)



<出典>国立環境研究所

ブロック内資源循環の事例

🌱 エコタウン事業

北九州エコタウン事業

- 投資額：約733億円(PCB含む)
(市：61億円、国等：263億円、民間：409億円)
- 従事者数：約1,300人
(非常勤研究者を含む)
- 視察者数：約56万人(累計)
- 外部評価：環境白書、小中学校
教科書への掲載など



サーマルリサイクルまで含めた
我が国初の
“ゼロエミッション団地”

北九州エコ・コンビナート構想

エコ・コンビナート構想の理念

資源・エネルギー利用の「工場内最適化」から「地域最適化」へ

- 産業間でエネルギー・副産物(廃棄物)を相互利用
- 生活圏との連携

都市レベルで資源・エネルギーの消費量を極小化

期待される効果

- 都市レベルで資源・エネルギー管理を実現するとともに、地球温暖化対策に寄与
- 安価なエネルギーコスト等による産業の国際競争力の強化、産業の空洞化対策に寄与
- 新エネルギー産業など新たな産業を創出
- 臨海部の既存工業地帯の再生

想定される事業(例)

- 既設工業インフラによる副産物(廃棄物)の相互処理・リサイクル
 - ・古紙リサイクル時に生じる製紙汚泥を製鉄工程の副産物として活用(製鉄所の建屋、電力、水等のユーティリティを活用)
 - ・石膏ボードや石灰石を製鉄工程でリサイクル
- 既設コークス炉に発電・熱回収装置(CDG)を設置し、周辺企業へ電気・熱を供給
- 工場未利用排熱を活用した生活圏への熱供給事業
- 既存産業の副生水系供給ポテンシャルを活用した水素/燃料電池利活用実証事業
- 生ごみや廃木材等からのバイオプラスチック製造事業への工場廃熱の供給
- 下水泥汚泥を燃料化し発電所の燃料として活用

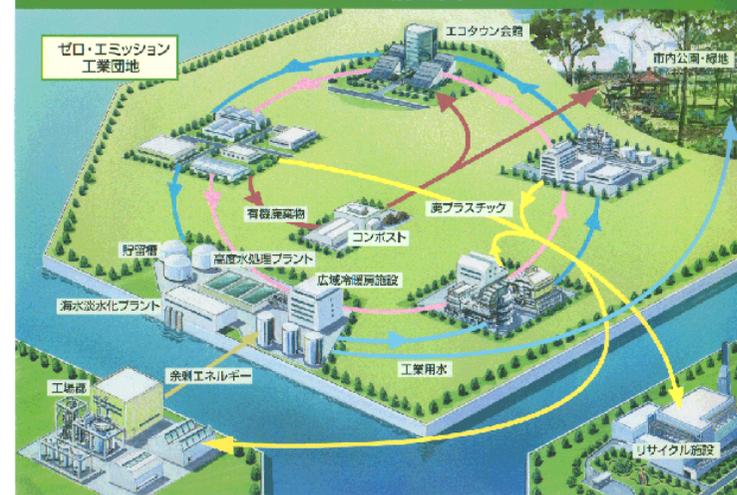
検討委員会参加企業 17社

- 旭硝子、西部ガス、新日鐵化学、東京製鐵、東陶機器、三菱化学
- 九州電力、触媒化成工業、住友金属小倉、東芝セミコンダクター、三井鉱山、三菱マテリアル
- 黒崎播磨、新日本製鐵、電源開発、三井ハイテック、安川電機

<出典>北九州市

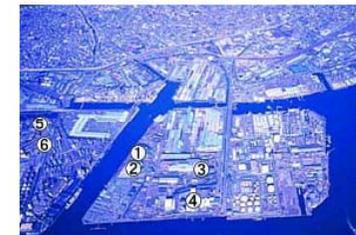
川崎市環境調和型まちづくり基本構想

エコタウン構想図



リサイクル拠点名

- ① 廃プラスチック高炉還元施設
 - ② 家電リサイクル施設
 - ③ 廃プラスチックコンクリート型枠用パネル製造施設
 - ④ 難再生古紙リサイクル施設
 - ⑤ 廃プラスチックアンモニア原料化施設
 - ⑥ ペットtoペットリサイクル施設
- (稼働日順で掲載しています。)



<出典>川崎市